

第11回 しまね自死遺族フォーラム in 益田

～この悲痛は、もう私たちだけでいい!!～

日時 令和2年 3月7日(土)13:00～16:00

会場 益田市立保健センター
3階大ホール

島根県益田市駅前町17-1
TEL 0856-31-0214 (益田駅前ビルEAGA)

手話通訳ご希望の方はご連絡ください

入場無料

どなたでも入場
できます。

プログラム

13:05～13:50

講演

『人権問題』としての自死対策

佐藤力法律事務所:佐藤 力 弁護士



プロフィール

法政大学法学部卒業、大阪大学大学院高等司法研究科終了。社会保険労務士・行政書士・弁護士。法テラス福岡法律事務所、法テラス島根法律事務所などを経て、現職。島根県貧困と人権に関する委員会委員。島根県自死総合対策連絡協議会委員。松江市いじめ対応専門家会議会長。島根大学人間科学部嘱託講師(2019年10月～12月)。

14:00～14:20

ミニコンサート ギター弾き語り:木下徹氏

プロフィール

大切な家族を失った遺族のつどい等で、ギターの弾き語りを行っているフォークシンガー。大阪市在住。

14:25～15:15

私たちのまさか あの日に戻れたら…

それぞれの立場から
(きょうだい、子ども、親、配偶者など)

15:15～15:55

会場との意見交換



会場との意見交換風景(浜田市)

お問合せ先:しまね分かち合いの会・虹

TEL: 090-4692-5960 (桑原)

E-Mail: kowataya898@hit-5.net

しまね分かち合いの会・虹

検索

自死遺族からのメッセージ

昨今、「自死」は、学校・職場のいじめ、失業・倒産や借金、生活困窮、病気、育児・介護疲れ、社会的・精神的孤立などさまざまな要因が複雑に関係し、心理的に「追い込まれた末の死」としてクローズアップされています。

大切な人を突然失った家族は、想像を絶する衝撃を受け、深い悲しみと絶望的な苦しみに見舞われます。さらに「自死」に対する社会的偏見もあり、亡くした家族のことを打ち明けられず、悲痛な孤立感を抱えてしまうのです。

このたび、当事者たちが勇気をもって体験を語ることによって、地域の皆さまに、改めて「自死」を考えていただける機会になることを切に願っています。

主催 ● 自死遺族自助グループ しまね分かち合いの会・虹

協力 ● 益田市、津和野町、吉賀町、益田保健所

後援 ● 島根県、益田市議会、益田市社会福祉協議会、津和野町社会福祉協議会、吉賀町社会福祉協議会、島根県自死総合対策連絡協議会、朝日新聞松江総局、山陰中央新報社、中国新聞社、毎日新聞松江支局、読売新聞松江支局、共同通信社松江支局、島根日日新聞社、NHK松江放送局、BSS 山陰放送、TSK 山陰中央テレビ、日本海テレビ、エフエム山陰、ひとまるビジョン、自死遺族支援弁護団、山陰過労死等を考える家族の会



3月は自死対策強化月間です

自死遺族の想いを伝えるパネル展 入場無料

日時 令和2年 3月4日(水) ~ 10日(火)
9:00 ~ 17:00 (10日(火)は16:30終了)

会場 益田市立保健センター 2階
島根県益田市駅前町17-1 TEL 0856-31-0214 (益田駅前ビルEAGA)

日時 令和2年 3月12日(木) ~ 19日(木)
9:00 ~ 17:00 (19日(木)は15:00終了)

会場 吉賀町内2カ所で開催
会場についてのお問い合わせ先
吉賀町役場保健福祉課 TEL 0856-77-1165

